

4. (資料) 水上オートバイ事故等の状況

事故等種類別の状況

平成 21 年から平成 30 年 12 月までに運輸安全委員会が調査に着手した水上オートバイ事故等は 454 件で、事故等種類別では、水上オートバイの同乗者や浮体の搭乗者が落水して死傷する等の事故が 223 件と最も多く、事故等全体の約 5 割を占めています。

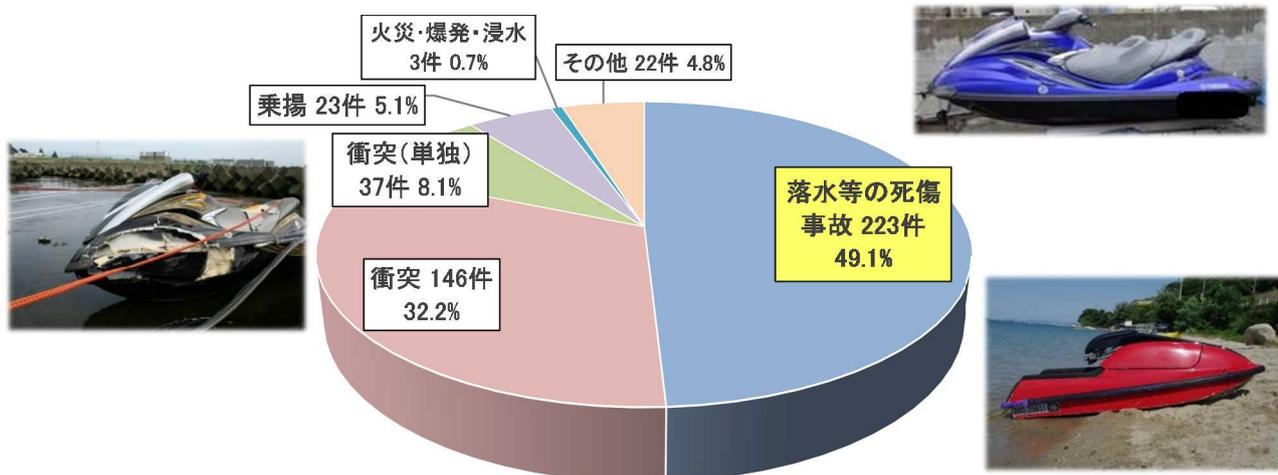


図7 事故等種類別の状況

事故等に伴う人の死傷の状況

454 件の事故等によって 59 人が死亡し、510 人が重軽傷を負っています。これを船長と船長以外で比較すると、死傷者のうち 428 人 (75.2%) が船長以外の同乗者や浮体の搭乗者等でした。

事故種類	船長				船長以外				計
	死亡	重傷	軽傷	計	死亡	重傷	軽傷	計	
落水等の死傷事故	11	14	10	35	26	117	109	252	287
衝突	5	39	36	80	8	47	53	108	188
衝突(単)	5	3	5	13	3	17	26	46	59
乗揚	0	2	9	11	1	7	11	19	30
火災・爆発・浸水	0	1	0	1	0	0	1	1	2
その他	0	0	1	1	0	1	1	2	3
計	21	59	61	141	38	189	201	428	569

表4 事故種類別死傷者の状況

ジェット噴流事故の状況

454 件のうち、ジェット噴流事故は 11 件で、同乗者 1 人が死亡し、9 人が重傷を負っています。

平成 23 年 7 月	阪南市箱作海岸	重傷
	明石市松江海水浴場	死亡
8 月	大津市琵琶湖	重傷
平成 24 年 9 月	南あわじ市慶野松原海水浴場	重傷
平成 26 年 8 月	名護市幸喜海岸	重傷
平成 27 年 8 月	蒲郡市形原漁港	重傷
	徳島市小松海岸	重傷
平成 28 年 6 月	福岡市今宿海岸	重傷
9 月	阪南市貝掛海岸	軽傷
平成 30 年 8 月	長浜市琵琶湖	重傷
9 月	泉大津市	重傷

表5 ジェット噴流事故の状況

発生場所の状況

水上オートバイ事故等は淡水の遊泳場、水辺のキャンプ場などで多くが発生しており、全体の3割を占めています。特に琵琶湖、猪苗代湖、相模川河口で合わせて94件が発生しており、これは湖・河川の事故等の約7割にあたります。

主な事故発生場所及び件数

湖・河川	136件	30.0%
野島崎～天竜川河口	22件	4.8%
安芸灘・広島湾	20件	4.4%
南西諸島(沖縄)	20件	4.4%
など		



湖・河川(136件)の状況

琵琶湖(滋賀)	61件	44.9%
猪苗代湖(福島)	19件	14.0%
相模川(神奈川)	14件	10.3%
利根川	6件	4.4%
長良川(岐阜)	3件	2.2%
浜名湖(静岡)	3件	2.2%
夷隅川	2件	1.5%
など		

発生月別の状況

夏場の7月と8月に集中しており、9月を含めた3ヶ月間で、全件数の83.7%にあたる380件が発生しています。

(単位:件)

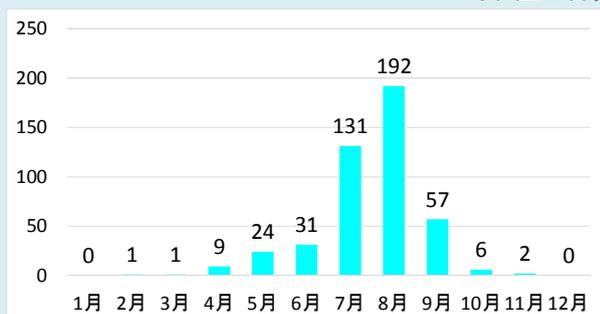


図8 事故等発生月別の状況

発生時間帯別の状況

発生時間帯では、13時台から16時台が288件(63.4%)で、13時以降の発生件数は、午前の倍以上となる304件に上ります。

(単位:件)

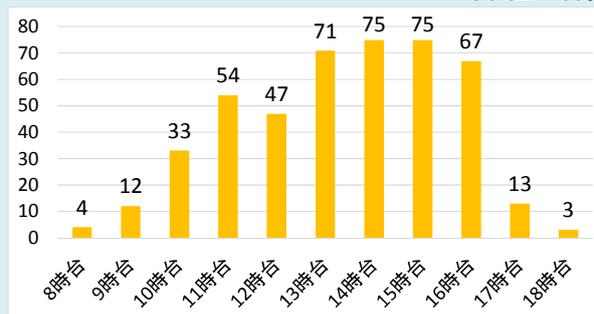


図9 事故等発生時間帯別の状況

事故防止分析官のひとこと

街中で、薄着のまま、耳の隠れないヘルメットを渡して、タンデムをしているバイクを見かけることがあります。これはおしゃれなどでは決してなく、転んだ時等に、後ろに乗っている人の安全を大切に思わない危険な行為です。水上オートバイでも、同様に、操船者に同乗者の安全を考える責任があります。事故になってからでは遅過ぎますので、ルールを守って、安全にマリレジャーを楽しんでいただきたいと、心から願っています。

「運輸安全委員会ダイジェスト」についての
ご意見や、出前講座のご依頼をお待ちしております。

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-2

国土交通省 運輸安全委員会事務局

担当: 参事官付 事故防止分析官

TEL 03-5253-8823(内線 54237)

FAX 03-5253-1680

URL <http://www.mlit.go.jp/jtsb/index.html>

e-mail hqt-jtsb_analysis@mlit.go.jp